

議会改革推進会議会議録

令和7年2月7日

亀山市議会

議会改革推進会議会議録

- 1 開催日時 令和7年2月7日(金) 午前10時07分～午前10時28分
- 2 開催場所 議場
- 3 出席議員
会 長 岡本公秀
副 会 長 森 英之
古田吉昭 櫻木善仁 深水隆司
草川卓也 中島雅代 今岡翔平
高島 真 豊田恵理 福沢美由紀
森 美和子 伊藤彦太郎 服部孝規
櫻井清蔵
- 4 欠席議員 新 秀隆 小坂直親
- 5 事務局 議会事務局長 大泉明彦 議事調査課長 水越いづみ
書 記 渡邊靖文 書 記 西口幸伸
- 6 案 件 1. 子ども議会の実施について(検討課題47)
2. その他
- 7 経 過 次のとおり

午前10時07分 開 会

○会長（岡本公秀君） ただいまから、議会改革推進会議を開会いたします。

まず初めに、事項1の子ども議会の実施について、これは検討課題の47番であります。子ども議会につきましては、昨年の8月27日に新市合併後初めて中学生議会として開催いたしました。アンケート結果等を見させていただきますと学校の先生方に負担がかかっているという課題というのはありましたが、子どもたちにとっては主権者教育の場、意見表明の場として有意義な時間であったと思っております。

本日は、福沢部会長より、今後の子ども議会の方向性と令和7年度の実施についての検討部会における検討結果についてご説明をいただき、推進会議として今後どうしていくかということについてご協議をいただきたいと思いますと思っております。

福沢部会長。

○議員（福沢美由紀君） ご説明させていただきます。

子ども議会、昨年度実施しましたが、中学校3年生を対象にしたんですけれども、これを経まして検討部会の中では、やはり子ども議会は毎年実施したいという意思となりました。この子ども議会という言葉なんですけれども、昨年行ったような方法だけを指すものではなくて対象もいろいろですし、今回は中3でしたけれども、ほかにもいろんな学年があったり、小学校があったり、高校があったりしますし、この議場ですという方法以外にも、例えば先方に出かけてお話を伺うとか、ワークショップをするとか、いろんな方法があるかと思うんですけれども、そういうことを含めて子どもたちの声を聞くという場を毎年議会としては実施したほうがいいのではないかということになりました。

そして、2年目となります令和7年度ですけれども、まずは今年度と同じような方法で中学生議会として実施するというを確認したところです。

以上です。

○会長（岡本公秀君） 説明は以上であります。

先ほどの福沢部会長の説明に関して何か確認したいこととかご意見がございましたら、順次発言をしてください。

櫻井委員。

○議員（櫻井清蔵君） 前回こういうのをやって、よかったと思うけれども、アンケート調査の結果、参加していただいた中学生の皆さん方から個々の意見、考え方というのは取ってもらっておるんやろうか。

○会長（岡本公秀君） 福沢部会長。

○議員（福沢美由紀君） 多分タブレットに入っていると思いますので出してもらいますけれども、簡単かどうかという円グラフみたいなものつけながら、いつだったかご報告させてもらったのかなと思うんですけれども、お聞きになりたいのは子どもたちの声ですかね。

（「そうです」の声あり）

○議員（福沢美由紀君） 子どもたちの声ですね。具体の声、よかったという声がとても子どもたちの声は多かったんですけれども、どうしてよかったんですかというところなんですけれども、貴重な体験ができたからとか、議会の人に優しくしてもらったとか、通告したことに対して具体的な数字も教えてもらったとか自分が思っていた以上のことを教えてくれたとか、ふだんどんなふうに行われている

のか仕組みを知ることができたとか、いいことについてはそういうことですね。

若干、改善してほしい点というところも次のページにあります。

問7のところですね。具体的に書いてもらっています。

よい体験はできたんだけど、本当に実現してくれるのかなと不安を抱いたとかね。あとは、要望、問9のところ、これは問9のところ自分の答えが、自分の質問に対して真っすぐに答えた内容でなくて論点がずれているように感じたとか、何か消化不良みたいな文言もありますね。私たちが言ったことについて少しずつ進めてほしいという声もありました。意見を取り入れたまちづくりを進めてほしいという声もありました。

また後でゆっくりこれを読んでいただけたらなと思いますけれども、よろしいですか。

○会長（岡本公秀君） 櫻井委員。

○議員（櫻井清蔵君） ありがとうございます。この資料があるのを見落としていましたので申し訳なかったです。

答弁者に対する、中学生議会って私としては担当部長が答弁したことについてはあれだけど、市長が答弁者となるべきだと私は思うんです。そんなことは学生さんの中では言ってみえなかったのかな。私はできたら答弁は市長がすべきだと思う、それで補足部分は担当部長がやるというような形だったらもっとよかったと違うのかなと思うんですけれども、その辺はどうですか。

そんなお声はなかったですか。

○会長（岡本公秀君） 一応今日の議会改革推進会議は、子ども議会に関するこれからどうしようかとか、今年度、来年度とかそういう話、大きな枠の話 皆さん方に決めていただきたいと思いますので、詳細に関してはまた福沢部会長をトップとする検討部会のほうで、例えば答弁の内容はどうか、いろんな時間配分はどうかそういうことは詳細を詰めていただきますので、この場では大きな方向性を決めていただきたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

櫻井委員。

○議員（櫻井清蔵君） だから本年度にこれを実施されるということは、検討会で決められたんやろう。

それはやっぱりやってもらうべきだと思う、やられたらどうですか。私はそう思います。

どうせやられるんやったら、今回の反省点で問9にもあったように、質問された中学生の皆さん方に対する答弁がちょっと分かりにくいという返答があったという、そういうような不満もあるみたいなので、私ら議員は袖で見させてもらっておったんだけど、申し訳ないですけども、5名の方がいろいろ準備していただいて、各学校を回っていただいて、そしていろいろ先生と子どもたちと相談してもらったと思うんですけれども、準備するメンバーで、行政側の質問者に対する答弁のチェックをする時間があたらええなど。そういうチェックをしていただいて、これは論点が間違っているんやないかという指摘を行政にする、もう少しはっきり答弁をしてあげなさいというようなことを大変委員の方には、どなたがなるのか知らないけれども、大変ですけどもそこら辺の、開催するのは議会ですからそのチェックはできませんかいな。そうするとこういう不満は出てこないと思うんですけどね。私はそう思いました。私も違和感を感じましたのでな、答弁がずれておると。

○会長（岡本公秀君） 櫻井委員のご意見も一応令和7年度も同じように行うということに関して皆さん方もご異論はないようですので、この推進会議全体の総意としては検討部会から話のあったよう

に令和7年度も行うと、昨年前回と同じ内容で中学生、梓組みをこの場で決めていただいて、櫻井委員のおっしゃる例えば答弁の内容とかいろんな細かいことはこの場ではなかなか踏み込むことができませんので検討部会に検討をお願いするというか、それをお願いしようと思うんですけども、いかがでしょうか。

よろしいですか。

服部委員。

○議員（服部孝規君） それでいいと思うんですけど、ただ、私は櫻井議員と違うんだけど、むしろその食い違いを見せたほうが僕はいいと思う。要するに、我々が体感しておることなんやよね。まともに答弁しないこととか、はぐらかされるとかというのが実態なんやで、現実なんやで、それをそこまでやってしまうと全部覆い隠してしまうことになる。

いつも議会というのはちゃんと質問にかみ合うような答弁してくれておるのやと思われるほうが私はまずいと思う。だから、現実はこちらかみ合わない答弁が来るんやという、それはそれで実態として僕は見てもらったほうがいいと思う。だから、かえって事前に議会でそういう手だてをせんほうが僕はいいと思います。これは私の意見です。

○会長（岡本公秀君） 分かりました。

ほかにご意見はございませんか。

検討部会でまたその旨検討していただく予定でございますが、特にございませんか、ほかに。

（発言する者なし）

○会長（岡本公秀君） それでは、この推進会議では行うという方向性で決めていただきましたので、詳細は検討部会でまた検討を重ねていただきたいと思います。

それでは、そのように進めさせていただきます。どうもありがとうございます。

続きまして、令和7年度の実施に向けましては、まず校長がございますので、私、議長のほうから依頼と概要説明をさせていただきます。その際に配付をいたします令和7年度中学生議会の概要についてという案ですけど、これを皆様方に確認をしていただきたいと思いますので、福沢部会長から説明をしていただきます。

福沢部会長。

○議員（福沢美由紀君） 資料1をご覧ください。

令和7年度亀山市中学生議会の概要について（案）でございます。

おおむね昨年度と同じなんですけど、若干変わっているところがございます。

目的はほとんど一緒ですね。次世代を担う子どもたちが行政や議会の仕組みを学ぶことで市政への関心と理解を深めるとともに、意見を表明する機会を保障する。子どもたちの自由な発想や視点からの意見や提言を市政の参考とする。

開催日程でございますが、いろいろ検討しましたところ、もう決めるしかない、この日しかないという状況でございました。令和7年8月26日火曜日、そして昨年度は台風が来るかどうかということで大分悩みましたので予備日を今回設けるということにしました。1日置いて28日を予備日といたします。実は次の日が9月定例会の開会日となりますので、大変議員の皆様にはタイトな忙しい日程となるんですけども、もうこの日しかないということで設定をさせていただいたところです。

開催場所は今までと一緒に、この議場です。

参加対象者ですけれども、全く一緒のほうが評価もしやすいんじゃないかという声もあったんですけども、先生方、教育委員会等にお聞きしたところ、学年によって、あるいはクラスによって本当に毎年いろいろ変わりますのでちょっと見て、任せていただきたいというところもあるということで、参加人数や対象の学年などは各中学校と協議の上決定する。

これは前と一緒にですけど、事前に保護者の承諾を得て、目的や活動、映像使用について承諾書をいただく。そして答弁も一緒ですね。市長、副市長、地域医療統括官、教育長、代表監査委員、関係部長等です。

議員全員で後ろにおってもらいましたので、これも前回と一緒にです。

テーマについても大きなテーマですので、前回と一緒に「もっと好きになれる！亀山市の未来について考える」です。

そして、スケジュールについては細かいことですので見ておいていただきたいんですけど、大体昨年度と一緒にです。8月26日に向けて依頼をかけて、議員が昨年と同じように学校説明会に伺って参加する学年に授業をさせていただく。そして、出ていただく方を選出していただいて一般質問の検討をしていただいて発言通告書を出していただくという流れです。

ちょっと質問を作り上げるのが難しかったという声から先生方からも出ておりますので、そこについてはまた工夫が必要かなと思っています。ですので、詳細内容、具体的なスケジュールなど各学校と協議して、これから細かいことは決定していくということです。

そして変わりましたのが、この予備日をつくったのと一緒に、当日のスケジュールです。リハーサルをもっとしっかりとやりたかったという声もありましたので、午前中はリハーサルを実施して、昼食を取っていただいて、午後中学生議会ということの予定としました。開会挨拶、一般質問をしていただいて、閉会挨拶で記念撮影という流れは昨年と一緒にです。

学校及び生徒の負担とならないように事前準備、学校説明会等の中学生議会に関することについての具体的な内容は、教育委員会及び学校と協議しながら検討して、必要な資料等を議会で準備していきますという内容でございます。

○会長（岡本公秀君） ありがとうございます。

子ども議会は基本的に毎年開催するというので、先ほどの福沢部会長の説明に、今回の案、先ほどの案に関して何か確認したいこととかご意見等ございましたら、順次発言をお願いいたします。

特にこの案に対してご意見等ございませんか。

（発言する者なし）

○会長（岡本公秀君） なければ、先ほど福沢部会長から説明のありました資料1の令和7年度中学生議会の概要についてという案を基本として、令和7年8月26日という日程で、中学生議会を前回と同じように開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

また、今年度のように台風等による開催の判断が難しい状況を回避するため予備日として、ちょっときつくなりますが、8月28日を設定させていただきます。これも先ほどの説明にあったとおりです。

なお、詳細につきましては、今後検討部会でさらにご協議をいただき、学校関係者との調整をさせていただきながら進めてまいります。よろしくお願いいたしますと思います。

次に、事項2ということですけど、その他ですが、本日の案件は以上ですけれども、ほかに何かご

ございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長(岡本公秀君) なければ、以上で議会改革推進会議を閉会いたします。どうもご苦労さまでございました。

午前10時28分 閉会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 2 月 7 日

会長 岡本公秀